

「同意写し返させて」 土地連、沖北委に要求

「同意写し返させて」

土地連、沖北委に要求

参議院沖縄および北方問題に関する特別委員会（岸信夫委員長）は17日、那覇市内のホテルで県軍用地等地主会連合会（土地連、浜比嘉勇会長）などと意見交換した。土地連は5月に賃貸借契約が切れる米軍用地の地代交渉をめぐり、防衛省が土地連に手続きの参考として提出させた更新同意書のコピー返還を防衛省に働き掛けるよう求めた。

土地連の浜比嘉会長は「コピーで契約を締結されると、沖縄と政府の関係は終わってしまう」と防衛省の手法に強い不満を示した上で、「参議院の皆さんで（コピーを）返してほしい」と防衛省に言っただけと要望した。

そのほか、返還跡地の原状回復や給付金支給制度の見直しなど返還跡地利用に関する法律の制定や、跡地利用を戦後処理復興事業の

（1面参照）

一環として国の責務で取り組むことなどを求めた。米軍普天間飛行場に関しては、返還前の立ち入り調査や、「普天間公園（仮称）」の実現に向けた国家プロジェクトの導入などを要望した。岸委員長は「ご要望、ご意見を国政、委員会の場で反映させていただきたい」と述べた。

中部市町村会（会長・儀間光男浦添市長）との意見交換で、市町村会は、嘉手納飛行場以南の米軍基地の早期返還、普天間飛行場の県外移設、跡地利用に関する充実した支援策などを求めた。

県経済団体会議（國場幸一議長）との懇談では、経済界から那覇空港拡張整備の早期実現や沖縄科学技術大学院大学の先端医療を含めた研究分野拡大、南北縦貫鉄道の導入など17分野の要望が挙げられた。

普天間「県外、国外に」 中部市町村会 参院沖北委に要望

普天間「県外、国外に」

中部市町村会 参院沖北委に要望

本島中部の市町村でつくる中部市町村会の儀間光男会長（浦添市長）は17日、来県中の参院沖縄北方特別委員会に対し、米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設を押し進める政府を批判し「県外・国外への移転で危険性を除去してほしい」と辺野古移設の日米合意を見直すよう強く求める要望書を提出した。那覇市の沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザで意見交換した。

要望書を読み上げた儀間会長は辺野古移設について「地元の理解が得られない移設案は不可能」と指摘し「状況が変化する中、政府は強行に押し進めている」と批判。「基地の過重負担

と被害の軽減を望む中部市町村住民や県民の理解が到底得られるものではなく、普天間飛行場の代替施設建設とパッケージとされる『嘉手納より南の米軍基地の返還』計画を大変危惧している」と述べ、普天間県外移設と早期閉鎖・返還やパッケージ論、日米合意の見直しを強く求めた。

県軍用地等地主会連合会の浜比嘉勇会長らも意見交換。今年5月に賃貸借契約が切れる米軍用地をめぐり、防衛省が契約同意書の複写（コピー）で契約更新手続きができるとした問題で「防衛省がコピーを返すか、目的以外に使わないという（同省の）言質を取っていたきたい」と求めた。